

第1学年 生活科 学習指導案

日時：令和6年11月27日（水）5校時

場所：王寺北義務教育学校 1年5組教室

指導者：三好偉雄太

1. 単元名 「おうじ すてき はっけん！」

2. 単元の目標

○王寺町にある施設やそこに関わる人たちについて知り、自分たちの生活は様々な場所や人と関わっていることに気づくことができる。（知識及び技能）

○王寺町にある場所やそこに関わる人たちについて考え、その魅力を表現することができる。（思考力・判断力・表現力等）

○王寺町に親しみや愛着をもち、意欲的に生活しようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

3. 単元について

（1）教材観

本学校のある王寺町には、魅力的な施設が多く存在する。例えば、様々な文化財を所有しイベントも多く開催される「達磨寺」、今年（令和6年）3月18日に王寺町指定文化財となった「D51形蒸気機関車895号機」が展示されている「舟戸児童公園」、遊具や運動場が備わった「畠田公園」などである。中でも「舟戸児童公園」の「蒸気機関車」は、「鉄道のまち」の象徴として展示され、その歴史と文化を後世に語り継ぐ役割を担っている。王寺駅は明治23年（1890）に設置されて以来発展し続け、現在は大阪のベッドタウンとして、1日に約4万人が利用している。

今回の学習を行うにあたってのテーマである「和（やわらぎ）プロジェクト」とは、義務教育学校の9年間の学びの中で、『ふるさと王寺の理解と愛情を育む教育として、王寺の地理や歴史、自然などを学び、王寺町の一員としての関わり方を考え、将来にわたり、ふるさと王寺を愛し誇れる人間の育成を進める』というものである。

とりわけ低学年では「王寺を知る」という学習に重点を置き、中でも第1学年では、王寺町の文化やそこに関わる人々に触れることで「もっと知りたい」「もっと行ってみたい」と興味関心を抱かせることが大切である。この学習を経て次学年、さらに他の施設を訪れることで王寺町を詳しく知る学習へと繋げていきたい。

（2）児童観

本学校は義務教育学校として2年前（令和4年）に開校され、校区が広がった。従って就学する児童は様々な幼稚園や保育園から集まっており、これまで経験してきたことに違いが多いと考えられる。例えば達磨寺については、片岡の里こども園が隣接されており、その園に通っていた児童とは特に関わりが深い。また、イベントが多く開催されており、親兄弟等と訪れたことのある児童もいる。

しかし一方で、本学級におけるアンケートの結果から、「達磨寺」「舟戸児童公園」「畠田公園」について知らない児童がいることや、それらの場所を一度は訪れたことがあっても複数回訪れた経験がある児童は少ないことが読み取れた。

これから9年間同じ学年団体で過ごす児童たちが王寺町について知り、愛着をもつためには、児童間で同じ経験を重ね、児童同士が共に心の繋がりを感じながら学ぶことが重要な要素だと考えられる。

（3）指導観

本単元は地域教材を基として展開していく学習であり、教材が校区内にあるため、実際にその場に行くことが可能である。また、王寺町に愛着をもつために、楽しみながら体験を通して学び、興味関心をもつことが重要であると考えられる。

本単元では、王寺町のマスコットキャラクターの「雪丸」が登場する導入を行う。現地では町の歴史や文化に詳しい町職員の方や、ボランティアガイドの方々にお話を聞かせていただき、地域の人たちとの

交流を図る。まとめにおいても、ゲームを通して楽しく振り返る学習を行い、9年間の「和プロジェクト」の学びの中で、記憶に刻まれるような系統性をもった体験学習を目指して指導にあたる。

【願い】

王寺町への愛着を抱いた子どもたちが成長し、奈良県、近畿、日本、世界へと視野を広げていったときも同様に、自分たちが住んでいる場所を大切にしたい、守りたい、遺していきたいという同じ志をもって、他者と繋がり合いながら生きてほしい。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

○連携性：近隣の人々や共に学ぶ仲間との関わりを考え、自分の生活を工夫すること。

・本学習で育てたいESDの資質・能力

○コミュニケーションを行う力

- ・主体的に考える。
- ・地域の人たちの説明や想いを聞く。
- ・友だちと王寺町の「すてきなところ」を伝え合う。
- ・気づいたことをクラスの中で発表する。

○つながりを尊重する態度

- ・地域の人たちの想いを受け止める。
- ・王寺町の「すてきなところ」に関心をもつ。
- ・王寺町の「すてきなところ」を大切にしようとする。

・本学習で変容を促すESDの価値観

○王寺町の「すてきなところ」を伝え合い、互いに繋がり合いながら自分たちのまちを大切にしていこうとする態度。（世代間の公正・世代内の公正）

・達成が期待されるSDGs

○目標 11：住み続けられるまちづくりを

- ・他者と繋がることで、共に住んでいるまちを大切にしていこうとする人材の育成。



4. 単元の評価規準

(ア) 知識・技能	(イ) 思考・判断・表現	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
①王寺町にある施設やその位置について理解している。 ②王寺町にある施設や、それについて詳しい人がいることに気づいている。 ③自分たちの生活は様々な場所や人と関わっていることに気づいている。	①王寺町の魅力を考えて、表現している。 ②王寺町の魅力を他者に伝えるために工夫して表現している。	①王寺町にある施設に関心を持ち、人や場所に関わろうとしている。 ②王寺町について他者に伝えたり、王寺町の魅力を新たに探したりしようとしている。

5. 単元の指導計画（全 13 時間）

主な学習活動	学習への支援	○評価 ・備考
1 王寺町について、地図の形や位置、主な施設を知り、今後の活動の見通しをもつ。 ・こんな形をしているんだ。 ・こんな場所があるんだ。 ・もっと知るにはどうすればいいかな。	○王寺町のマスコットキャラクター「雪丸」が登場するスライドを使って導入を行い、今後の学習に関心がもてるようにする。	(ア)① (知・技)
2 「達磨寺」へ行き、「王寺町ボランティアガイド」の方の説明を受けながら、達磨寺について知る。 ・学校の近くにこんなお寺があるんだ。	○「王寺町ボランティアガイド」の方々と打ち合わせを重ね、1年生でも理解できる内容で構成し、達磨寺に関心がもてるようにする。	(ア)② (知・技) (ウ)① (主体的)
3 王寺町役場の「岡島さん」の話を聞き、「鉄道のまち」「蒸気機関車」の内容を中心に王寺町について知る。 ・鉄道のまちのいいところは何かな。	○「岡島さん」と打ち合わせを重ね、1年生でも理解できる内容で構成し、「鉄道のまち」に関心がもてるようにする。	(ア)② (知・技) (イ)① (思判表)
4 「舟戸児童公園」へ行き、「岡島さん」の説明を受けながら、舟戸児童公園の蒸気機関車について知る。 ・王寺町は「鉄道のまち」だから蒸気機関車があるんだ。	○秋見つけも兼ねて舟戸児童公園の魅力に触れられるようにし、「岡島さん」との再会によって、地域の人との関わりの土台となるように構成する。	(ア)② (知・技) (ウ)① (主体的)
5 「畠田公園」へ行き、秋見つけを通して畠田公園について知る。 ・王寺町には自然がたくさんあるんだな。	○次単元の内容と兼ねる形で、畠田公園の魅力に触れられるようにし、王寺町の広さや地形に関する理解の土台となるように構成する。	(ウ)① (主体的)
6 (本時)これまでの学習で気づいたことを思い出し、王寺町の魅力を考えてワークシートに記したり、発表したりする。 ・また行ってみたい。 ・他の場所にも行きたい。 ・誰かに伝えたい。	○雪丸が登場するスライドやカードゲームを使って楽しく学習を振り返り、表現しやすい雰囲気を作る。	(ア)③ (知・技) (イ)① (思判表) (ウ)② (主体的)
7 これまでの学習で気づいた王寺町の魅力を他者（おうちの人）に伝えるためにまとめる。 ・自分が知った王寺町の魅力を他の人にも知ってほしい。	○学習したことを深めながら、他者に伝えるにはどのように表現するのがよいかという視点をもたせる。	(イ)② (思判表) (ウ)② (主体的)

6. 本時について

(1) 本時の目標

- ・王寺町の「すてきなところ」を考えて伝え合い、新たに探そうとすることができる。

(2) 本時の展開

学習内容	指導上の留意点（・）児童の反応・行動（○）	準備（・）評価（【】）
1. スライドを見ながら、訪れた三か所の施設を振り返り、本時のめあてを確認する。今日の学習の流れを確認する。	・スライドを見せながら、訪れた場所を振り返らせる。 ○「達磨寺」 ○「舟戸児童公園」 ○「畠田公園」 } (以下㊦) おうじちょうの すてきをつたえよう。	・雪丸が登場するスライドを作成する。
2. 「鉄道のまち」のすてきなところを振り返る。	・ワークシートを配布する。 ○岡島さん（ゲストティーチャー）のお話のスライドとを見ながら振り返る。 ○「鉄道のまち」のすてきなところを発表する。	・ワークシート、スライドの準備をする。
3. 「おうじちょうじゃんけんゲーム」をする。	○配られた写真を持って教室を歩き回りペアをつくる。 ○「せーの」で写真を見せ合い、㊦を三疎みとする。 ○対戦後写真を交換し、再び教室を歩き回る。	・写真の準備をする。
4. ペア、クラスで㊦や生活の学習で発見した王寺町の「すてきなところ」を伝え合う。	○ペアで㊦を含む王寺町の「すてきなところ」を考え、ワークシートに記入し発表する。 ○クラスメイトの発表を聞く。 ・「すてきやなあ」と受け止める。 ・「人」「出かけた時に見つけたもの」等の視点を提示する。	【思・判・表】①王寺町の魅力を考えて、表現することができる。 (発言・ワークシート)
5. ワークシートで振り返り、次の活動（学習）に向けて考える。	○王寺町の「すてきなところ」を知って思ったことや、これから（学習）してみたいことを考えてワークシートに記入し、発表する。	【態度】②王寺町について他者に伝えたり、王寺町の魅力を新たに探したりしようとしている。 (観察・ワークシート)